

ハートランド平尾台株式会社

I 法人の概要（令和6年4月1日現在）

- 所在地 北九州市小倉南区平尾台一丁目1番1号
- 設立年月日 平成8年4月1日
- 代表者 代表取締役社長 加茂野 秀一
- 資本金 91,200千円
- その他資本金に準ずる額 73,838千円
- 北九州市の出資金 39,906千円（出資の割合 24.18%）
- 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	9人	0人	1人	8人
常 勤	1人	0人	1人	0人
非常勤	8人	0人	0人	8人
職 員	9人	0人	1人	8人

II 令和5年度事業実績

1 事業の経過及び成果

(1) 経過

令和5年度は、北九州市平尾台自然の郷の開園20周年記念事業として、4月にカルスト台地の地形を生かした新感覚のフィールドアスレチック施設「平尾台アスレ」をオープンし、9月にはアスレ内にターザンロープ遊具を設置した。新たな集客施設の整備に投資を行い、1日中遊べる公園としての魅力が一層増加したことで、集客数、売上高は令和4年度よりもさらに増加した。また、平尾台にとどまらず、北九州市の観光振興のため、令和5年度から新たな事業として旅行業にも取り組んでいる。

一方で、原油価格の高騰による諸物価の上昇により、電気料金をはじめとした公共料金や燃料費、商品の仕入費などの経費、また、開園以来20年以上経過した設備や施設の修繕にかかる経費は増加している。

このように、厳しい状況が続く中、集客のための積極的な設備投資を行うと同時に、運営経費の削減にも取り組んだが、令和5年度は平成30年度以来5年ぶりの赤字決算となった。

(2) 成果

- ① 「平尾台自然の郷」の入園者数 258,566人（令和4年度 211,652人）

入園者数は、前年度対比で、46,914人増、22.2%増となった。

- ② 「福岡県平尾台自然観察センター」の入館者数 11,624人（令和4年度 22,212人）

入園者数は、前年度対比で、10,588人減、47.7%減となった。これは9月以降リニューアル工事のために休館したことによるものであり、前年度4～8月と比較すると67人増で同水準であった。

- ③ 売上・利益

売上高は、223,077千円、経常損失は、7,273千円となった。法人税等控除後の当期純損失は、7,437千円となった。

2 主な事業実施状況

(1) 「平尾台自然の郷」

① PR活動

- ・春、夏休み、秋の行楽シーズンに焦点を当てた営業・広報活動を実施した。
- ・大使館関係者や駐在員等の外国人コミュニティが関心を寄せる英字情報メディア「Tokyo Weekender」に記事を掲載した（7月）。
- ・SNS（Instagram、Facebook、X）を使った広報活動や、YouTube（ライブカメラ）、園内4か所に新たに導入したデジタルサイネージ等によりタイムリーな広報に努めた。
- ・平尾台全体のPRにつながるアウトリーチ活動を関係団体や施設と共同で実施した（西日本陶磁器フェスタ、東谷フェスティバルなど）。

② 各種事業の実施（新規分）

- ・令和5年4月、カルスト台地ならではの体験ができるフィールドアスレチック「平尾台アスレ」（有料）をオープン。同年9月にはターザンロープ遊具を増設した（利用者7,637人）。
- ・令和5年4月、「手ぶらでBBQ」を開始した。
- ・令和4年度末に登録した旅行業をスタートし、4件の受注型企画旅行を実施した。
- ・キャッシュレス決済システムと、クラウド型POSレジを導入した。
- ・開園20周年記念セレモニーとは別に、年間を通じて様々なメモリアルイベントを開催した。
- ・BBQ広場にオートサイトを増設し、RVパークの利用拡大を図った他、日本最大級のオフ会イベント「キャンピングカーヴァケーション2023 IN九州」を開催した。

③ 各種事業の実施（継続分）

- ・ペルセウス座流星群鑑賞会、初日の出、平尾台お月見会などの天体観測イベントを開催した。
- ・学校との連携イベントとして、小学校環境アクティブラーニング、中学校野球部対抗駅伝大会、地元小学校環境学習などを開催した。
- ・地域との協働イベントとして、観光祭、野焼きへの参加や協力、新米まつりなどの開催を行った。
- ・平尾台の特色を活かしたイベントとして、ガイドツアーを実施した。
- ・スポーツイベントとして、トレイルランニング、クロスカントリー、北九州サイクルフェスティバルを実行委員会に参画して開催した。
- ・その他のイベントとして、ブルーベリー摘み取り、根菜類の収穫体験などを実施した。
- ・冬の宿泊キャンプの要望に応え、11～12月の毎週金、土曜に受け入れ、利用日の拡充を図った
- ・昨年立ち上げた西日本旅行ネットワークの会を活用し、交通事業者や旅行会社、宿泊施設などと連携、認知度の向上を図るとともに旅行商品の造成を働きかけた。
- ・「バッテリーカー」に加え、大人も利用できる「バギーカー」を2台増車した。

(2) 「福岡県平尾台自然観察センター」

- ・平尾台散策道整備、遊歩道草刈、外来植物駆除などにより、平尾台の景観維持、登山・散策者の安全対策に取り組んだ。
- ・野外イベントとして、登山（ライオン岩、大平山、貫山など）、観察会（野草、きのこ、コウモリなど）、ケイビング（洞窟探検）などを実施した。
- ・特別展示として、写真展（きのこ）を実施した。

Ⅲ 令和5年度決算

1 貸借対照表(総括表)

令和6年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	141,682,446	流 動 負 債	10,215,947
現 金 預 金	114,902,928	買 掛 金	547,667
売 掛 金	14,585,551	未 払 金	1,344,550
商 品	2,039,796	未 払 費 用	6,696,541
食 材 品	155,715	預 り 金	1,487,489
貯 蔵 品	323,026	未 払 法 人 税 等	139,700
焼 酎	2,045,536	引 当 金	2,835,955
前 払 費 用	1,592,608	賞 与 引 当 金	2,835,955
立 替 金	1,715,306	負債の部合計	13,051,902
仮 払 金	221,900	純資産の部	
未 収 入 金	900,080	科 目	金 額
保 証 金	3,200,000	資 本 金	91,200,000
固 定 資 産	121,786,199	資 本 剰 余 金	73,837,619
(有形固定資産)	(121,494,999)	資本準備金	22,800,000
建 物	6,144,767	その他資本剰余金	51,037,619
建 物 付 属 設 備	4,732,213	利 益 剰 余 金	85,379,124
構 築 物	45,189,233	繰越利益剰余金	85,379,124
車 両 運 搬 具	560,343	株 主 資 本 合 計	250,416,743
工 具 器 具 備 品	10,486,155	純 資 産 の 部 合 計	250,416,743
一 括 償 却 資 産	554,884		
土 地	53,827,404		
(無形固定資産)	(291,200)		
電 話 加 入 権	291,200		
資 産 合 計	263,468,645	負債及び純資産合計	263,468,645

2 損益計算書（総括表）

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 31 日（単位：円）

科 目		金 額	
経 常 損 益 の 部	(営業損益の部)		
	営業収益		223,077,674
	売上高	223,077,674	
	営業費用		237,421,153
	売上原価	11,233,090	
	販売費及び一般管理費	226,188,063	
	営業損失		14,343,479
	(営業外損益の部)		
	営業外収益		7,074,054
	受取利息	1	
	雑収入	7,074,053	
営業外費用		3,920	
雑損失	3,920		
営業外利益		7,070,134	
経常損失		7,273,345	
税引前当期純損失			7,273,345
法人税、住民税及び事業税			164,200
当期純損失			7,437,545

IV 令和6年度事業計画

1 「平尾台自然の郷」

(1)新たな取組み

- ・「平尾台アスレ」に平尾台特有の地形を活かした遊具を増設する。
- ・子どもがチョークで自由に絵を書き、遊べるらくがきエリアを設置する。
- ・レストランをリニューアルし、メニューを一新する。屋外のテラス席で焼肉ランチ等を提供する。
- ・グランピング跡地（ウッドデッキ）を活用して、ロッジ型のエアースタイルタイプの大型テントを設置し、初心者でもキャンプが楽しめる『手ぶらでキャンプ』サービスを提供する。
- ・愛犬家のニーズに応え、大自然の中で楽しめるドッグスポーツ（ルアーコーシング）を開催する。
- ・山歩きやライトケービングと宮崎牛 BBQ を組み合わせたツアー商品を作り、平尾台の魅力を情報発信する。

(2)PR 活動

SNS の活用や YouTube（ライブカメラ）によりタイムリーな広報に努める。

(3)夜間開園

夏休み期間中の土曜は 20 時まで開園時間を延長し、夕涼みイベントやビアガーデンを開催する。

(4)自主事業の収益改善

バッテリーカー、バギーカーを増車、家族で楽しめるアイテムの充実によりサービス向上を図る。

(5)ボランティアの拡充

新規募集と研修により平尾台で活動する各種ボランティアの拡充を図る。

(6)各種イベントの開催

天体観測やスポーツ大会、地域と協働したお祭りや陶芸等の体験教室の充実を図る。

2 「福岡県平尾台自然観察センター」

(1)施設のリニューアル

福岡県が施設のリニューアル計画を進めており、新しい映像システムを使った展示など魅力的な施設づくりに向け、施設運営の立場から提案を行う。

(2)ボランティアの育成

山岳会等の団体等を取り込み、新規ボランティアの確保に努める。特に、ガイドの育成については、リニューアルオープンを見据えて強化する。

(3)自然保護意識の醸成

年間を通して自然と触れ合うイベント等を行い、カルスト台地特有の自然とその希少価値を意識することにより、自然保護意識を醸成する。

V 令和6年度予算

1 予定損益計算書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日 (単位：千円)

勘定科目	令和6年度予算
(営業損益の部)	
売上高	237,421
売上原価	211,103
一般管理費	25,428
営業利益	889
(営業外損益の部)	
営業外収益	373
受取利息	0
その他営業外利益	373
営業外費用	0
営業外利益	373
税引前当期利益	1,262
法人税・住民税及び事業税	524
当期利益	739

VI 役員名簿

令和6年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役	加茂野秀一	社長
取締役	井上保之	北九州市 都市ブランド創造局長
〃	上村周二	北九州市 都市戦略局長
〃	三善 顕	UBE 三菱セメント(株) 九州工場事務部長
〃	根石紀雄	(株)ユアーズ 代表取締役社長
〃	木村徹哉	住友大阪セメント(株) 業務グループリーダー
〃	壹岐尾恵美	株式会社かいこ 代表取締役社長
監査役	岩男英徳	(株)西日本シティ銀行常務執行役員 北九州総本部長
〃	糸永卓見	(株)太平設計 代表取締役